



<VOL124.2018.4>

もりおかクラブ事務所：〒020-0804 盛岡市本町通3丁目1-1 Tel 019-623-1575 盛岡YMCA内  
盛岡YMCA HP <http://www.ymcajapan.org/morioka/> 検索エンジンワード「盛岡YMCA」

「主題」

国際会長	Henry Grindheim (NOR)	「ともに、光の中を歩もう」
アジア地域会長	Tung Ming Hsiao (台湾)	「ワイズ運動を尊重しよう」
東日本区理事	栗本 治郎 (熱海)	「広げようワイズの仲間」
北東部長	鈴木 伊知郎 (宇都宮東)	「距離に負けるな北東部、各クラブの個性を磨こう」
もりおかクラブ会長	井上 修三	「原点に戻って 20周年をめざそう！」

今月の聖句 マタイによる複音書 18章1~5節



「心の清い人々は幸いである、その人達は神の子と呼ばれる。」

会長	井上 修三
副会長	三田 庸平
書記	濱塚 有史
会計	大関 靖二
担当主事	小川 嘉文
メネット	井上 優子

5月定例会のご案内

日時 平成30年5月12日(第2土曜日) 18時30分  
 場所 ジャーラン5F 2,000円  
 卓話 押部 明德 様 ばんだ動物病院院長  
 「動物にも東洋医学」  
 第二例会 5月18日(第3金) 場所未定

井上会長巻頭挨拶



井上会長

4月はLT(リーダーシップ トレーニング)の月。

会員のリーダーシップ開発、向上を目的に行う研修。東日本区では、区主催の部役員、クラブ役員の研修を企画、実施している。また部主催の研修会等の支援を行う。

現況はカレンダーにもあるとおり、

10月、3月に区主催研修会が実施されており欠くことのできない会となっています。部主催の研修会は一部にとどまっているようです。

ちなみに私の属する北東部では開催された記憶がありません。(しっかり文献を調べての上の事ではないので、違っていましたら、お叱り受けることを覚悟の上で。)私も何度か区主催の研修会に出席しておりますが、やはり、大切な機会であるという認識は強く持っております。

世の動きの速度も高速並みという実態から基本精神は不変としても、時代に沿った運営が求められていることは認めなければなりません。

4月例会の報告

平成30年3月14日(土) ジャーランにて開催 井上、井上優子、大関、濱塚、魚住、千葉、長岡、村上、小川(敬称略)。ゲスト、谷藤 長利さん(岩手県シェアリングネイチャー協会理事長)、オン・ホーインさん(メンバー)、小岩 莊太さん(いわぞん)、鈴木 凜奈さん(つくし)盛岡 YMCA ボランティアリーダー、以上13名の参加で開催されました。

本日の卓話はお二方です、盛岡YMCAボランティアリーダー、オン・ホーインさん、メンバーの「ネパールワークキャンプの報告会」、谷藤長利さんの「自然案内人として」の二本立てです。どちらもわくわくします。この後特集しております、お楽しみに。



100羽単位で募集 岩手大の南学生オンサンマリー 岩手日報に掲載折り紙募集の記事

盛岡YMCAは新年度が始まり、プログラムがスタートしました。60歳以上のシニア対象の「大学生と行く!お花見ハイクル」という企画はゴリナが発案企画で実施いたします。長岡も対象になりました。新デザインの夏キャンプ100周年記念 Tシャツの販売の案内、本日の

卓話を下さるオン・ホーインさんの折鶴の募集など盛りだくさんの情報を提供してくれました。本日例会に参加してくれた、いわぞんとつし、ありがとうね。また来てください。

充実の内容で4月の例会をすごしました。東日本区大会も近づいてきました、ワイズメンズクラブの今年度も残り2か月です。来年度は、三田メンが会長になります。井上会長の2年継続の会長職も、もう少しです。期待の三田メンにバトンを渡しましょう。



4月例会集合写真

## ネパールワークキャンプに参加して

オン・ホーイン(岩手大学、盛岡YMCAリーダー)



オン・ホーインさん

こんばんは、オン・ホーインと申します。よろしくお願ひいたします。ネパールのワークキャンプに参加したご報告をいたします。盛岡YMCAから推薦を受けて地球市民に参加した事から、人との繋がりが広がり自分の世界観を広げて見たくなり、村上 章子さんのネパールの話などを聞き、ネパールに一度行ってみたい

気持ちが強くなり今回ワークキャンプに参加いたしました。地球市民のとき取り組んだのが人身取引でした、ネパールでもそれが有り自身のために、現地で実情を見聞きたかったのです。また、ネパール地震被害の復興にも協力したいとの気持ちもありました。

盛岡YMCAのリーダーとして3年目になります。各地のリーダー達との交流も深めたいという気持ちもありましたし、他国の文化に触れる事にワクワク感が湧き出てきました。

期間は2018年2月20日から26日まで、日本YMCA同盟とネパールYMCAとの共同ワークキャンプでした。地震災害の後の復興へのニーズや復興作業のサポート、子供達とのレクリエーションを行い、自然豊かな環境の中でネパールの文化を知ることができました。

Valley English Secondary School という学校で3日間ワークショップを行い、Krosanibary村では復興建設のサポート、1日市内観光という行程でした。

私たちは3つのグループに分かれて、施設の美化作業、授業、文化交流をそれぞれ体験しました。私のグループは、訪問したメンバーと現地の子供6人の10名で、初日は殺風景な施設の壁に絵を描いて楽しい雰囲気が出るようにしました。2日目はサッカーやゲームをして楽しい一日を過ごしました。

日本から持って行ったシャボン玉が人気で夢中になって飛ばしているのが印象的でした。3日目は学校の美化作業です。子供たちと話し合い、学校の美化の作業を行いました。

4日目は、少し離れた村の学校で生活上必要な知識や HIV に知識などを教えていました。将来村から出て自力で生活するための知識や技術でお金を得る事を教えています。そんな生徒たちに快適な環境を整える活動をしてきました。

今回のキャンプに参加して思ったことは、本当の支援とはなんだろう。と自身に問いかけ、少し成長したなと思いました。支援が必要な所に、たとえ遠い所でも足を運び、よりたくさんの人々に笑顔を届けに行くことが今の私達にできる事だと思いました。

## 自然案内人の活動

谷藤長利さん、岩手県シェアリングネイチャー協会理事長



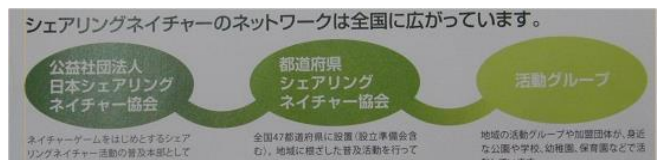
谷藤長利さん

今晚は、谷藤長利と申します、お招きいただき例会に参加させていただきました。岩手県シェアリングネイチャー協会の理事長でございます。

子どもたちにより深く自然を満喫してもらうために考え出されたネイチャーゲームというものがあります。アメリカで1979年にプログラムとして発表しました。日本に入ってから30年以上、私が携わって20年経ちます。「子どもたちと自然を分かち合う」という発想から生まれています。自然が先生で、自然から学ばせてもらう活動という事で、自然案内人と呼ばれています。人間の五感を使って、見る、触る、匂いなどでより深く自然を体感して行きます。ネイチャーゲームをリードして行くための資格があります。ネイチャーゲームリーダーと言います。だれでも取れます、8月に講習会があります。

ネイチャーゲームの特徴ですが、観察会などの先生ははかなり詳しい知識を持っており、私はとても無理だと感じてしまいますが、五感を駆使したものですから子供から大人、老人まで一緒に活動して問題がありません。160を越える活動があり組み合わせでリーダーが特別な知識が無くても、場所を選ばず自然と関わり合えます。例えば、木に聴診器を当てて音を聴いてみるとなにかしらの音は聞こえます。木が水を吸い上げる音だという人がいますが、水を吸い上げる音ではなく、風の音だったり、地面から伝わってくる音だったりします。それを参加者が感覚で聞き取るのです。また、テーマを決めての宝探し、人間の顔に見えるものを探すだとか、そんな中から自然の不思議や面白さに気付く事ができます。子供と大人で共有し合うのです。子供は小さい所の物を発見します。大人は知識がじゃまをして見逃します、「え、そんなのがあったの。」などという事が多々あります。子供はわるい気がするわけではありません。また、老人は、子供とのふれあいに感動します。こんな私に接してくれるとは、普段の生活では考えられないふれあい体験をします。

私の娘もリーダーの資格を取り、孫達とも一緒に活動して、一家で楽しんでおります。定例会を各地で開催して居りますので、興味があれば是非参加してみてください。YMCA のキャンプのツールにもぴったりだと思ひます。



# 「フリテン盛岡DAON」

## もりおかクラブの状況報告

4月の出席率	8/14	57 %	ゲスト 4名	ビジター 1名	メネット 1名		
メーキャップ	1	名		3月切手	15 g	累計	253 g
4月のにこにこ	19,000	円	累計 40,500 円	3月プルタブ	0 g	累計	22,350 g
4月 石鹸	1,610	円	累計 1,610 円	りんご	0 円	累計	円
4月 献金		円		ファンド合計	34,410 円		

会費の納入をお願いいたします。岩手銀行 松園支店(店番号 082)普通口座 2145674

もりおかワイズメンズクラブ 会計 大関 靖二

4月のハッピーバースディ 4/8 三田庸平さん 4/11 濱塚真美メネット 4/16 山口律子メネット  
お誕生日おめでとございます。

## 盛岡YMCA新人リーダー歓迎会！開催

4月15日、内丸教会にて新大学生を迎える歓迎会を開催いたしました。ワイズからは、千葉、魚住、村上、中原、中原メネット、根内、根内メネット、三田、長岡、濱塚、小川(敬称略)が主に食事係として参加。焼きそば、お好み焼き、プチケーキ、プチピザを提供。大量の食品提供という事で気合いがはまりました。

朝から雨模様で屋外の活動は中止、教会の行動でのプログラムに変更です。それでも、YMCAの先輩リーダーたちは引き出しの多さを十二分に発揮して、楽しい企画でおもてなしです。後ろで見えていましたが、お楽しみを提供するためには、自身が楽しまなくては、という事が肌で感じる事ができました。お見事です。

総勢70名の歓迎会でしたが、岩大の学生がなにやら行事が重なり参加していないとの事で、あと20人多くなら講堂から人がはみ出してしまわないか？と思うほど多くの新人候補が集まりました。全員がYMCAに集うことはないのかもしれませんが、新リーダーの誕生を大いに期待できる歓迎会でした。



もりおかワイズの鉄板焼



おお、この人数これが盛岡YMCAだ

## 第三回北東部評議会開催

4月21日、宇都宮さくらんぼ幼稚園で開催。今年度最後の評議会でした。今回の評議会開催1日前に、宇都宮クラブの大久保さんから議案の提案者になってくださいというメールが届きました。恐る々開いてみるとなんとびっくり、次々期の北東部長に現部長の鈴木伊知郎さんを推薦してくださいというものでした。アジア大会を仙台で開催するために、準備段階で携わっている鈴木さんでアジア大会を成功させようというものでした。非常に前向きな議案でしたので、本人も承諾しているとの事で喜んで提案させていただきました。結果、満場一致で次々期の部長に決定いたしました。よろしくお願いいたします。

また北東部のバナー制作が具体的に決定しました。今年の東日本区大会でお披露目します。中川部長が提案して、長岡部長

時代を経て、鈴木部長の年度で完成しました。大会が楽しみです。さらに、次年度の東日本区メネット委員長に、井上優子メネットが就任することがまりました。もりおかクラブも井上メネットに大いに協力しなければなりません。ご苦労をおかけしますが、なんでも協力しますので頑張ってください。夕方、盛岡までの帰途につき最後の評議会は終わりました。



鈴木部長ご苦労様でした、あとは東日本区大会で終了ですね。

## 東日本大震災アーカイブス 2012年3月 陸前高田市、奇跡の一本松は今

空高く伸びた一本の松を山の稜線から姿を見せた朝日が照らす。東日本大震災で壊滅的な被害を受けた岩手県陸前高田市の景勝地「高田松原」で津波に耐えた「奇跡の一本松」。7万本の中で唯一、生き残った松は、復興のシンボルとして被災地だけでなく、全国にも希望と勇気を与えてきました。同市内では一本松のTシャツやキーホルダー、お菓子なども販売され、経済

活動再開にも一役買ってきました。しかし、津波で海水をかぶり漂流物で傷つき“満身創痍”の一本松を待っていたのは地盤沈下による海水の冠水と、仲間を失ったため直射日光を過剰に浴びる過酷な環境だったようです。復興の象徴を守ろうと、地元「高田松原を守る会」や財団法人「日本緑化センター」などが保護活動を展開。高潮時に海水が根元に入らないよう周囲に堤防を施したり、直射日光や潮風を防ぐネットを巻くなどしてきました。7月には新芽や緑葉が伸びたことを確認。しかし、猛暑



頑張った一本松でしたが

が過ぎた9月には新芽が変色するなどして衰弱、10月には樹木にとっては命取りの根腐れが判明しました。日本緑化センターは今日13日、「蘇生は絶望的な状況」と発表。守る会の鈴木善久会長(66)は「市民に希望と勇気をくれたのに…。悲しく残念」と肩を落としました。しかし一方で、技術を駆使して一本松の“子供たち”を育てる活動も動き出し、14日には東京都内で関係者が会見。1本松の接ぎ木から3本のクローン苗を、枝に残った松ぼっくりから採取した種子から18本の苗をそれぞれ育てることに成功したと発表。「希望の光をつなぐことができた」と胸を張りました。後継となる木の育成に一定のめどが立ち、関係者の表情も明るく、鈴木会長は「『ありがとう』と一本松をねぎらいたい。育った苗から高田松原の再生を目指す

ことが一番の恩返しになる」と力を込めています。なぜこの松だけが流されずに残ったのでしょうか？ この松の海側にユースホステルがありました。盛岡YMCA が春と夏に何回もサッカーキャンプの宿舎に 利用してきた施設です。ユースホステルは壊滅的な被害をうけましたが、せめて一本だけでも松を残そうと津波の盾になったのでしょう。

偶然とはいえ、何かを感じます。 仲間の松7万本は流木となって市内に流れつきました。この松を使っていろいろな事が企画されましたが、放射能の影響を恐れた人々が搬入を断ったためにほとんど利用されず、焼却処分が始まっています。放射能は自然界に普通に存在しているものですから、放射線を測るのではなく、放射性セシウムがあるか測定してほしいものです。



一本松の盾になったユースホステル

### 桜が満開！盛岡、桜達の会話？

盛岡城公園のソメイヨシノ

「今年の冬は寒かったなす。んでも、3月になったつけ、根元の雪っこも溶けだし。4月になったおん、そろそろ起きるべかね。」

石割桜

「おめさん達、少し寝坊助だなはん。おらは一足先に起きだよ。花っこ咲かせる準備出来だよ。」

盛岡城公園のソメイヨシノ

「石割おんばさん、なんぼになったの？おら達が植えられた時はもう石割ってそこにいだったなはん。」

石割桜

「よく、覚えてねんとも、350歳くらいだなはん。おめさん達は40歳くらいだえん。」

盛岡城公園のソメイヨシノ

「じゃじゃじゃ、350歳だっつか。ずいぶん長生きだなはん、おんばさんより長生きな桜はねなはん」

石割桜

「龍谷寺のモリオカシダレも随分長く生きていやんすよ。私と、二人で天然記念物だおん、盛岡の春の名物って皆さんにかわいがられていやんすよ。」

モリオカシダレ

「ん、私すか。歳はよく分からねのす。おらの足元はもううろが腐って、ぺっこ残っている幹でなんとか生きているのす。よく手入れしてもらっているから今年も花っこ咲かせることができやんす。」

石割桜

「私もだあ、毎年枝つってもらって、こも巻いで貰ってなんとか生きでら。」

盛岡城公園のソメイヨシノ

「おら達はまだまだ元気だおん。見てけで、今年も花見るべって、大勢の人っこだち来てけだよ。あの人達に向かって花っこ見せてやるべ。」

石割桜

「んだなはん、花っこの季節だけ人っこ達、見てけるおんね。花散ると来ねぐるおんね。」



石割桜



ソメイヨシノ



モリオカシダレ

編集後記

厳しい冬の気温から、一気に温度上昇で、こぶし、梅、桜が同時に咲きだした4月でした。24日、25日の桜散らしの雨が降り花は半分散りました。桜の花は人が見上げるとすべての花が人に向かって咲くのだそうです。だから日本人は桜が大好きなのでしょうね、また、見事な散り様というのも日本人が好きな理由のような気がします。

陸前高田市の高田松原は再生に向けて数回の植樹が始まっています。クローンの苗、松ぼっくりの種からの苗などこれからも多くの苗の植樹を繰り返して元の松原を目指していきます。私

が活着しているうちには元には戻らないと思いますが、もともと森林は子々孫々に残すものですから、100年後に元に戻ればいいですね。

お花の写真をどうぞ。

